

令和元年度 地域元気プログラム活用研修① 実施報告

実施日：令和元（2019）年6月25日（火）

栃木県教育委員会では、平成29年度に「地域元気プログラム」を作成しました。本プログラムは、地域の大人同士が話し合いをしながら学習を行うためのものです。これにより、気付きによる地域の大人自身の学びに加え、住民同士が交流し合える関係づくりや、地域課題の解決を通じた住民同士のネットワークの構築にもつながることが期待されます。

本プログラムが県内各地域で活用されるよう、話し合い学習の推進役となるファシリテーターの技能を身につける演習を中心とした全5回の研修がスタートしました。



〇説明・演習「地域課題と地域元気プログラムについて」

演習「地域元気プログラム体験Ⅰ」

栃木県教育委員会事務局 生涯学習課 課長補佐 吉田 正道



午前には、まず話し合いの約束を決めるワークショップを通して、参加型学習の押さえるべきポイントを確認しました。また、「地域元気プログラム」の説明では、地域課題について受講者同士で話し合うことで、立場や地域によって課題が異なることや、地域に対するの思いの違いに気付きを得ました。そして、地域元気プログラムの紹介文を考えるワークショップから、プログラムの特徴について理解を深めました。

午後は、「地域元気プログラム」の体験を通して、プログラムのよさを体感できたようです。また、ファシリテーターの進行や声かけ等にも着目することで、今後の研修につながる学びとなったようです。最後に、学習プログラムの仕組みと構造、参加型学習の特徴について確認しました。

一日の研修がグループワーク中心に進められ、受講者の皆さんは楽しく学習できたようです。



【受講者の感想から】

- ・「違い」から学ぶことの大きさという言葉がとても印象に残った。人と違うとついドキッとしてしまうけれど、グループワークを通してそう感じなくなっていることに気付いた。
- ・グループでの学びは、自分で考えつかないような意見がたくさんあり、たくさんの気付きをいただけた。初めてお会いした方と深い意見交換ができて、有意義な時間だった。
- ・地域元気プログラムがなぜ必要なのか知ることができた。
- ・活用できそうなプログラムがたくさんあるので、ぜひやってみたいと思う。



研修内容に関するお問い合わせは、栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 e-mail: skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp